



かいた病院だより

第3号

発行 本田宜久
編集 広報委員会
連絡先 TEL 09496-2-2131

「病床再編について」

院長 本田宜久

平成21年12月1日より、穎田病院の稼働病床を60から74床へと増床しました。療養病床だけでなく、リハビリテーションの充実した病院として一般病床も用意しました。更に多くの方々のお役に立ち、地域の皆さまの幸福に貢献できるよう、知を磨き、技を磨き、心を磨く医療法人博愛会穎田病院でありたいと決意しております。(なお、亜急性期病床の設置に関して現在検討中です。)



病床区分について！！

「**一般病床**」とは、精神病床、結核病床、感染症病床、療養病床以外の病床のことで、一般的に皆様が病気や怪我で入院したときの病床を言います。

「**亜急性期病床**」とは、ケガや病気への治療が一段落した患者様に対して、在宅復帰または介護施設への転院をめざし、活動性の向上を目指したリハビリテーションの実施など、効率的かつ密度の高い医療を提供させていただく病床です。

「**療養病床**」は、急性期の治療が終って状態が安定し、長期にわたって療養が必要な方に、医学的管理の下で日常のお世話やリハビリによる機能訓練、医療などを行う病床です。

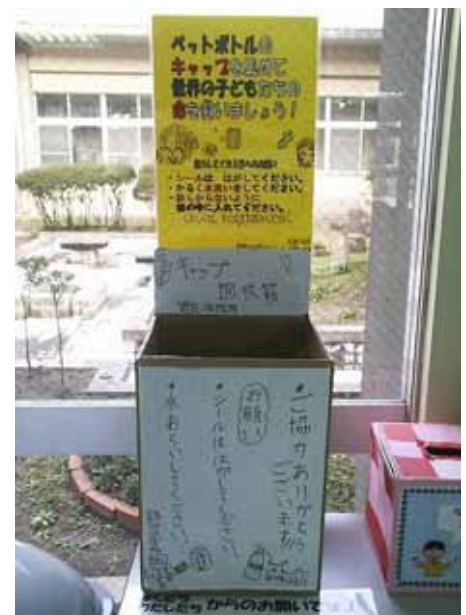
※急性期とは、主に病気のなり始め、つまり症状の比較的激しい時期を指します。一般的に処置・投薬・手術などを行うことにより、1カ月程度で治癒する場合をいいます。

ペットボトルのキャップを集めています。

穎田小学校の5年生が、“エコキャップ運動”に取り組んでいます。エコキャップ運動とは、ペットボトルのキャップを回収して再資源化事業者に販売することで得られた売却益を開発途上国の子どもへのワクチン代として寄贈する運動のことです。キャップ800個で、ポリオワクチン1人分になるそうです。

回収箱を、病院待合室に設置していますので、

皆様のご協力をお願いします。

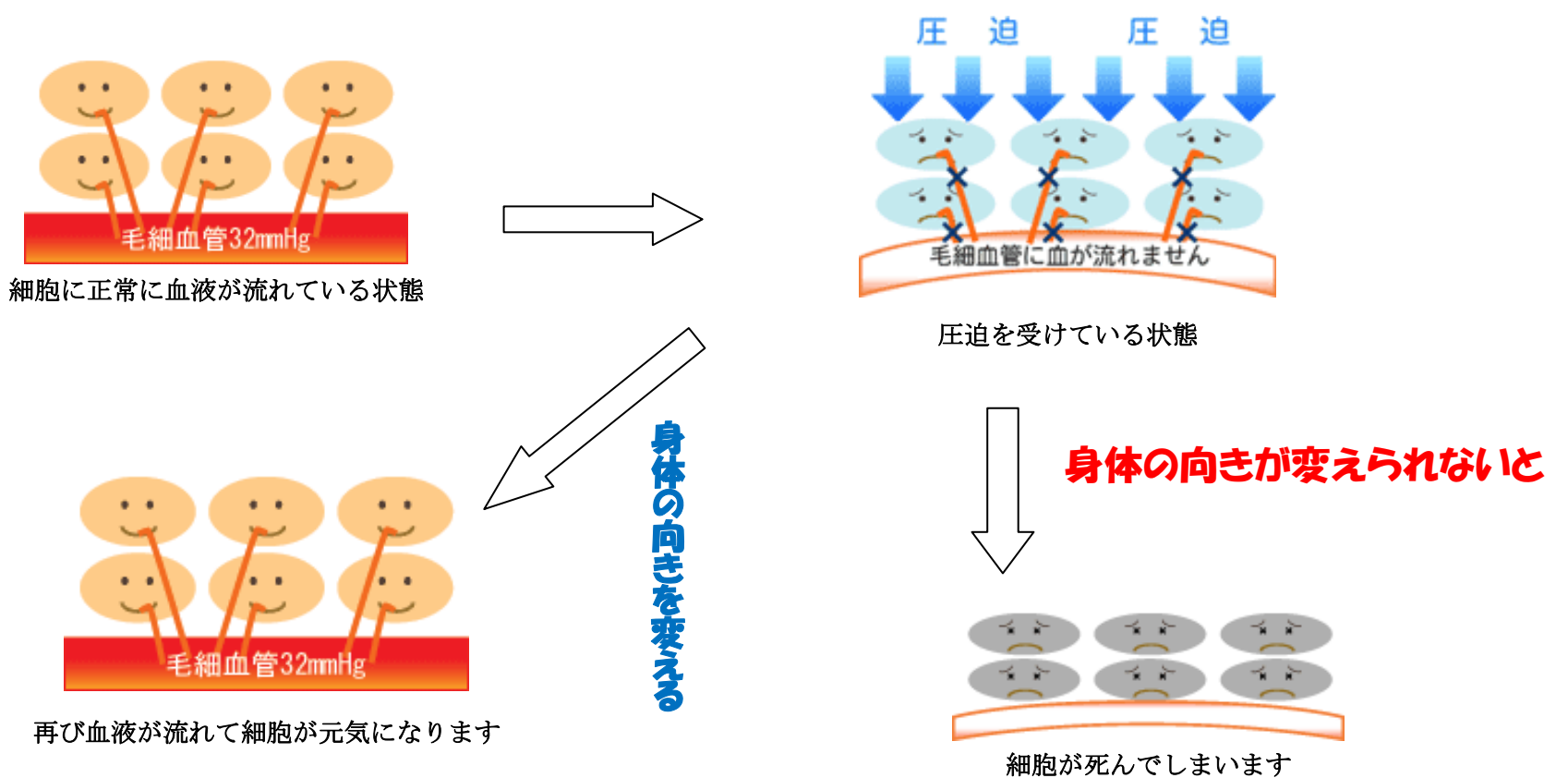


シリーズ 語る 第3弾

“褥瘡(いわゆる床ずれ)について”

褥瘡はどうして出来るのでしょうか？

地球上では、重力があるために私たちの身体は床面から常に力を受けています。この力は身体の組織を圧迫したり、引っ張ったり、ねじったりと複合的に作用して血の流れを悪くして、そのまま動かずにいると組織は酸素欠乏状態になってしまいます。自分の力で身体の向きを変えられずにいると圧迫、ずれにより組織が死んでしまいます。また、尿や便失禁などのムレからによる皮膚の耐久性の低下によっても組織が障害を受けます。



(堀田予防医学・統合医療研究所 HP より)

予防のしかた！！

圧迫とずれをできるだけ少なくする必要があります。圧迫を予防するには体圧分散寝具、クッション、身体の向きをかえることが必要です。ずれの予防には、ずれを起こしにくい身体の向きのかえ方、シーツ・寝具の工夫、プッシュアップ（おしりを浮かす）などで減らすことが必要です。



褥瘡対策チームのメンバーです。

週1回の褥瘡回診などの活動を中心に、褥瘡予防についての検討を行っています。

次回は、穎田病院での取り組みをお知らせします。

文責 褥瘡対策チームリーダー 吉留 加代子

院内ウォーキング



穎田病院のここが知りたい！

リハビリとは、失った身体機能と社会適応能力の回復を目指すものです。そして、リハビリの中でも目的に合わせた治療を行う為、**理学療法士・作業療法士・言語聴覚士**と3つの職種に分かれています。

穎田病院のリハビリテーション部には、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がそれぞれ在籍しています。今回は、リハビリをより理解して頂く為に、作業療法について紹介したいと思います！！

作業療法とは…



「日常生活」を取り戻す為の援助を行います。

日常生活活動とは、食事・入浴・トイレ・更衣など生活全般に関わる「作業活動」をいいます。私達作業療法士は、このような日常生活活動の生活援助を行うと共に、職場復帰に至るまで、広く関わっていきます。

たとえば、主婦の方であれば料理を作れるよう、高齢者の方であれば、衣服の着脱ができるといったそれぞれのプログラムが必要です。その為に、作業療法士は社会復帰に必要な作業手段を選択します。そして、実際に調理練習をしたり、手工芸・絵画・音楽などを用い、患者さん個々にあったプログラムに沿ってリハビリを行います。

さまざまな疾患の患者さんに合わせた作業を行っています。是非一度、見学等来られてください。また、訪問リハビリにも行っていますので何かご質問等ありましたら、下記までご連絡ください。

文責 作業療法士 秋 章子

時事通信

テーマ：インフルエンザについて

最近とてもインフルエンザが流行っていますが、みなさんは大丈夫ですか？さて、今回はインフルエンザについてです。インフルエンザに罹った人はどういったことに気をつければよいのでしょうか。

インフルエンザの症状・合併症は？

インフルエンザは通常は5日～7日程度で自然に改善します。しかし、肺、心臓、腎臓の病気を持っている方や糖尿病などの体の抵抗力が低下している人では重症化することもあります。合併症としては、インフルエンザ脳症、肺炎などがあるため、意識が朦朧としたり、ひどい呼吸困難などがあつたりした場合は早めに医療機関を受診しましょう。

予防について

インフルエンザは飛沫感染といって、人の咳やくしゃみを介して感染していきます。ですので、マスク着用、手洗い、うがいは予防にとっても大事です。咳、くしゃみのしぶきは約2メートル飛ぶといわれているので、咳、くしゃみの時は人の方向に顔を向けず、マスク、ハンカチなどで受けるようにしましょう。家族など周囲の方も手洗い、うがい、マスクを着用するようにしましょう。

どのくらいまで安静が必要？

通常インフルエンザでは熱が下がってから2日目までは外出を控えてください。しかし、新型インフルエンザの場合は症状がなくなっても感染力が続く場合があるので、発熱・咳などの症状が出た翌日から7日目までは外出を控えてください。

内科 江本 賢



診療科のご案内

診療時間 午前8:30～午後5:00(月曜から金曜)

午前8:30～午後0:30(土曜)

受付時間 午前8:30～11:30、午後1:00～4:30(月曜から金曜)

午前8:30～11:30(土曜)

	月	火	水	木	金	土
内科 8:30～12:30 14:00～17:00	本田 大杉 江本	吉田 安藤/尾田 小山	茂木 吉田 萬代(第2週)	本田 小田/檜田 藤井/江本	本田 井村 吉田	当番制
整形外科 14:30～16:30		非常勤 (飯塚病院)	非常勤 (飯塚病院)		非常勤 (飯塚病院)	
外科 8:30～12:30	長家					
耳鼻科 8:30～12:30		非常勤 (九大)			非常勤 (九大)	
眼科 13:00～17:30			非常勤 (福大)			

平成21年11月現在

～編集後記～
 巻頭にもお知らせしておりますが、患者様により良い医療の提供のために病床再編を行いました。また、床頭台の更新、テレビの地デジ化など環境面での整備も進んでおります。少しでも患者様に満足して頂ければと思います。インフルエンザもまだ流行っています。ワクチンの接種も大切ですが、それだけでは完全に防ぐことはできませんので、やはり日頃の予防策が重要です。忘年会シーズンとなりましたが、皆様くれぐれも飲み過ぎ・食べ過ぎにご注意を！
 (広報委員会)

<お問い合わせ先>

医療法人博愛会 額田病院

住所 福岡県飯塚市口原 1061-1

電話番号 09496-2-2131 (代表)